

日本組織適合性学会 国際交流助成についてのお知らせ

[目的] 日本組織適合性学会（以下 JSHI と呼ぶ）の会員に海外での研究成果の発表、海外研究者との共同研究・交流、最先端の知識修得の機会を提供するとともに、国際交流によって得られた効果をフィードバックすることで本学会の発展に資することを目的とする。

[選考手続き] 国際交流担当理事の下に、担当理事が指名して理事会の承認を得た合計7名の評議員から成る運営委員会を設置して、募集ならびに選考を行なう。なお、委員の選考に際しては、基礎医学、検査医学ならびに臨床医学の領域をそれぞれ専門とする評議員を含むものとする。

[募集要項]

1. 応募資格

3年以上の JSHI 会員歴を有する会員を助成の対象とする。申請者は研究者、検査技師、大学院生のいずれであってもよいが、研究者の場合は申請年度（本学会の会計年度：8月1日～翌年7月31日）の8月1日現在の年齢が45歳以下の者に限る。営利を目的とする企業・法人等の社員、職員等は助成の対象外とする。本助成を受けた者は、助成後3年以内の応募を不可とする（2021年度に助成した場合、2025年度以降は応募可）。

2. 募集人員

前期（8月～翌年1月実施国際交流活動対象）2名程度

後期（2月～7月実施国際交流活動対象）2名程度

* 2021年度前期の対象期間：2021年10月～翌年1月
(2021年前期の募集・派遣期間のみ例年とは異なります。)

3. 本助成の対象となる組織適合性ならびに免疫遺伝学に関連する国際活動

- (1) 国際学会、英語を公用語として海外で開催される研究集会での発表
- (2) 海外で開催される国際的な講習会への参加や共同研究活動
- (3) 海外で開催される国際的な調査活動
- (4) その他、運営委員会が適切であると判断した海外派遣

現地渡航を条件とするが、2021年10月～翌年1月期の募集については Web 開催学会・集会への助成も対象とする。web 開催学会の場合は、筆頭演者として口頭発表することを必須要件とし、参加費・演題登録費相当分を上限とする。

4. 国際交流助成金の支給額

一人一回当たり 10 万円を上限として支給する（所属機関宛に振込む）。
（応募者多数の場合は減額して支給する場合がある。）

5. 申請手続

(1) 応募書類

1) 申請書（様式 1）

2) 履歴書（様式任意）（A4 1 枚）

3) 業績目録（学会発表、論文発表等）

※学会発表、論文発表ともに、共同演者あるいは共著者を含め、全員の名前を記載すること。学会発表については、口演とポスターの別を明記すること。

4) 3. の (1) 「国際学会、英語を公用語として海外で開催される研究集会での発表」による申請の場合

・出席する学会等の名称、期日、プログラム、抄録、受領証明（口演かポスター発表かの区別を含む）

5) 3. の (2) ～ (4) による申請の場合

・海外での活動あるいは学習の内容を申請者自身が英文で記述したもの
・海外での活動あるいは学習を行う機関等が発行する参加承諾書

様式 1 に押印後、すべての書類を 1 つの PDF ファイルにまとめたものを、
(4) 提出先にメール添付で提出してください。

(2) 応募書類の提出期限

1) 2021 年前期：対象期間（2021 年 10 月～1 月実施国際活動対象）

応募書類の提出期限 2021 年 9 月 21 日（火）24:00

2) 後期（2 月～7 月実施国際活動対象）：当該前年 12 月第二月曜日 24:00

(3) 採用決定の時期

1) 2021 年前期分 2021 年 9 月下旬

2) 後期：12 月下旬

(4) 書類の提出先・問合せ先：

日本組織適合性学会 広島事務支局

E-mail: jshihiroshima@gmail.com

6. 選考基準

海外派遣の効果（予想される効果）、申請者の将来性、会員歴、学会への貢献度（学会発表を含む）、これまでの活動実績（研究業績を含む）などを総合的に勘案して選考する。学会発表については、筆頭演者として口演で発表する者を優先する。

2021年10月～翌年1月期はWeb開催形式の学会参加についても応募可とするが、筆頭演者として口演発表することを応募条件とする（現地参加の応募者を優先する）。

7. 報告書の提出と学会誌への寄稿

助成対象者は国際活動終了後1ヶ月以内に報告書（様式2により作成されたもの）を電子媒体で国際交流担当理事あてに提出すること。また、海外派遣によって得られた実績等について、国際活動終了後3ヶ月以内に日本組織適合性学会誌MHCにレポートを寄稿するものとする。